



しおり  
石川 汐梨 さん

●出流原小学校 6年

たくさんの人に本の楽しさを

わたしの将来の夢は作家になることです。

本を読むことが大好きで、1年生のときから毎日のように本を読んできました。3年生のときに1冊の本にとっても感動しました。その本は、わたしがつかれたり落ちこんだりしたときに元気をくれました。それがきっかけで、本がもっと大好きになりました。だから、わたしも読んだ人の心が明るくなるような本を書きたいです。本をあまり読まない人にも、本の楽しさを伝えていきたいと思います。



佐野ブランドキャラクター  
さのまる

## 市長からの メッセージ



今年も新年早々、うれしいニュースがありました。全国高校サッカー選手権大会で、佐野日大高校が勝ち進み全国3位になりました。

準決勝の際には、私も会場に駆けつけ応援をしてきました。接戦の末、残念ながら決勝進出は逃しましたが、最後まであきらめない選手たちの姿に感動しました。今後、選手たちにはこの経験をかてとして、後輩や子どもたちには目標として頑張ってもらいたいと思います。

さて、先月7日には本市主催の新年祝賀会・表彰式を開催しました。式典前のアトラクションでは、秋に開催される唐澤山城跡での山城サミットのPRも兼ね、唐澤山神社の春秋大祭に奉納されている「浦安の舞」と勇壮な「たぬま太鼓」の演技が行われ、市内各界代表者など大勢の皆様と新しい年の門出を祝いました。

8日には、成人式が市内3カ所で開催され、本市では約1200人の方が成人式を迎えられました。私から今年の新成人の皆様には「希望」という言葉を贈りました。これからの人生、数々の困難に直面し、悩み、苦しむこともあるでしょう。どんな時でも人と人とのつながりを大切に、「希望」を忘れず困難を切り開き、新しい時代を築いて欲しいと願っています。

今月5日には、伝統ある大澤駅伝競走大会が行われます。今年はこれまで最多の約180チームがエントリーしております。寒風の中、タスキをつなぐ選手の激走に熱い応援をお願いします。また、25・26日には「さのまるの日」イベントが市役所周辺で開催されます。「ご当地グルメ大作戦」と称し、多数のご当地グルメやキャラクターが集合します。ぜひ皆様のお越しをお待ちしています。

今が寒さのピークです。空気も乾燥しておりますので、風邪などひかぬよう注意してお過ごしください。

岡部正英



### 今回の表紙 「佐野日大高校、全国高校サッカー第3位」 準決勝後の表彰式

監督と選手たちの強い絆のもと、我慢が必要な守備中心のスタイルを貫き、快進撃を続けた佐野日大の選手たち。最後までひたむきに走り続けるその姿には、多くの感動を与えてもらいました。選手の皆さん、ありがとうございました。 ※写真は同校提供



# キラリ★ 話題の「ひと」

## 栗原 登さん (久保町)

### ○プロフィール

会社を退職後、観光ボランティアガイド養成講座を受講(第1期生)。現在、佐野ボランティアガイド協会の会長を務める。



### 観光立市を下支え

真田父子別れの地として伝わる犬伏新町の「新町薬師堂」が昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送を受け、注目を集めました。

その地を観光客に分かりやすく解説し、説明していたのが今回紹介する、栗原登さんをはじめとした「佐野観光ボランティアガイド協会(愛称・佐野ふるさとガイド)」の皆さんです。

佐野ふるさとガイドを務める皆さんは、佐野市の主だった観光地をボランティアで案内しています。

平成21年の1期生から4期生のガイド21名がおり、栗原さんは1期生にあたります。

佐野観光ボランティアガイド協会では、去る1月12日にその定例会が開かれました。その際、栗原さんは、申し込みがあつた団体(観光客)の希望場所などをみて、会員のガイドの皆さんにテキパキと割り振り、その会合の様子は和気あいあいと行っていました。

佐野ふるさとガイドは随時、観光案内をしているほか、初詣などのお客さんが多い1月・2月の時期には佐野市観光物産会館に、そして3月のカタクリの花が開花する時期には、みかも山

の「万葉自然公園かたくりの里」に臨時観光案内所を開設し、訪れる皆さんをご案内しています。

唐沢山城跡が綺麗な紅葉に彩られた昨年11月にも、山頂駐車場に臨時観光案内所を開設し、多くの方が唐沢山城の歴史に耳を傾けていました。

佐野観光ボランティアガイドの皆さんは、水色のベストと帽子を着用し、皆さんをお待ちしています。

佐野市に訪れる皆さんに「訪れて良かった」と思っていただけのように、栗原さんはガイドの皆さんに「個性を發揮して積極的なパフォーマンスで、訪れた皆さんに対応して欲しい」と望んでいました。

今年の11月、唐沢山城跡では「全国山城サミット」が開かれ、全国各地から多くの人々が訪れます。栗原さんをはじめ、ボランティアガイドの皆さんのご活躍に期待したいと思います。

(市民記者 佐藤久夫)



定例会に臨む栗原さん

### 「倒す」を強めるときにいう



#### ブツオス・ブツケスは

立木や柱など立っているものを横にすることを、共通語で倒すまたはひっくり返すなどといいます。方言にも、いろいろない方がありますが、倒すを強めるときには普通ブツケスといえます。これは「打ち返す」が変化したものです。「返す」は、向きや位置を反対にすることですが、それが変化して倒すという意味になりました。ブツケスは、大きな木を切り倒したり、大きな柱を押し倒したりするときにはいいです。「ブツ(打)」には、荒々しい動作を表したり、強めたりするはたらきがあります。力を加えて倒す「ブツケス」に対して、自然に倒れることはブツケルといえます。

「家の裏の杉がデッカクナツチャツタンデ(大木になったので)、ブツケリヤシナカンベカ(倒れないだろうか)」と心配で、ブツケスベ(倒そう)と思ったが、ナンセ(何しろ)フテンデ(太いので)ねえ」

人をなぐり倒すことを、強めていうときに共通語では「ぶったおす」といいます。方言では、大きな木や柱などを倒すようすを、荒々しく強くいうために、ブツオスといえます。ブツオスやブツケスのように荒々しさはないが、よく使われる方言にヒツケス・オツケスがあります。あまり大きくない木を切り倒したり押し倒したりするとき、これらの方言が使われます。

「あの木の太さだったら、だれだってヒツケセルダンベ(倒せるでしょう)。スイクチ(丸太の切り口の直径)だつてなんぼもナカンベから」

(市民記者 森下喜一)

